

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

クラス名	虹組（2歳児）
施設名	蒲田音楽学園保育園
施設所在地	東京都大田区西蒲田四丁目27番2号
法人名	社会福祉法人扶社会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然・身近な物

<テーマの設定理由>

（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）
園庭が小さな砂場のスペースしかないため、散歩へ行く機会が多い。近くに遊歩道や公園、線路があることから散歩に行く時間を活かし、「自然」「身近にあるもの」をテーマにして探究する。散歩中に気になる植物や昆虫、電車等をタブレット端末に写真を撮って、園にも戻ってきた後に写真に撮った植物や昆虫の名前、特徴等について調べ、探究していく。

2. 活動スケジュール

令和8年1月～3月

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）
タブレット端末(iPhone・iPad)

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

1月29日(木)
1. 公園にて宝探し！
子ども達と一緒に、公園内にある草木や木の実を探して回る。
2. 見つけたものを調べてみよう。
iPadを使い、公園で見つけたものを調べる。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）
・初めは何をするかをあまり理解していなかったが、保育者が木の実や葉っぱを見つけた姿を見て、一緒に探そうとする姿があった。
・見つけたものを、友達や保育者に見せて回り、他児も「どこにあったの？」と尋ねて一緒に探しに行こうとする様子があった。
・見つけたものを保育者に見てもらって、「いいものを見つけたね！」と声を掛けられ、嬉しそうに次々と見つけていた。
・見つけたものに対し、保育者が疑問を投げかけるとそれに対し、悩みながら自分の考えを伝える姿があった。
・みんなで調べたものをまとめる中で、自分の考えを伝える楽しさを知ったようで日常的に保育者が疑問を投げかけると、考えを伝えるようになった。
・まとめたものを振り返る際に、担任以外にも自分たちが調べたものを伝えようとする姿があった。
・保育者も一緒になって探しつつ、時折見つけたものに対し疑問を投げかけて子ども達がどのように考えるかを見守った。見つけた時には、喜びを共感し、他児にも共有して意欲へと繋いだ。
・まとめて終わりではなく、次に繋いでいけるように虫など子どもが興味を持った単語に着目して、新しい興味に繋いでいけるよう声を掛ける。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・保育者が一緒に参加することで、子ども達が一緒にやってみたいなど興味を持つきっかけになることを感じた。初めは参加しなかった子も、保育者と一緒に楽しむ他児を見て気になって参加するようになり、その気持ちが膨らんで新しい興味に繋がっていった。
・子ども達の発想は、大人にはない疑問や着眼点があり、聞いていて改めて子どもの柔軟性を感じた。大人では考え付かないような発想が出てきて、まとめる際にどんな発想が出てくるとワクワクした。そこから、疑問を投げかけると「これはこうではないか？」と自分の考えを述べることが増えたように感じる。これを機に自分の考えを相手に伝える機会を増やし、その考えを受け止められる中でじぶんの考えをしっかりと持つことの大切さを伝えていきたい。
・子どもの探求心を増やしていきたい。今回のすくわくにより、子ども達が様々な考えを持っていることが分かったため、今回のどんぐりから派生させていき新しい発見や気づきに繋げていきたい。

令和7年度【2025年度】

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

クラス名	虹組（2歳児）
施設名	蒲田音楽学園保育園
施設所在地	東京都大田区西蒲田四丁目27番2号
法人名	社会福祉法人扶社会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然・身近な物

<テーマの設定理由>

（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）

園庭が小さな砂場のスペースしかないため、散歩へ行く機会が多い。近くに遊歩道や公園、線路があることから散歩に行く時間を活かし、「自然」「身近にあるもの」をテーマにして探究する。散歩中に気になる植物や昆虫、電車等をタブレット端末に写真を撮って、園に戻ってきた後に写真に撮った植物や昆虫のお名前、特徴等について調べ、探究していく。

2. 活動スケジュール

令和8年1月～3月

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）

タブレット端末(iPhone・iPad)

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

2月17日(火)

1. 公園にて自然探し

前回の活動を経て自然に興味を持ち、公園内の自然を探した。

2. 見つけたものを調べてみよう

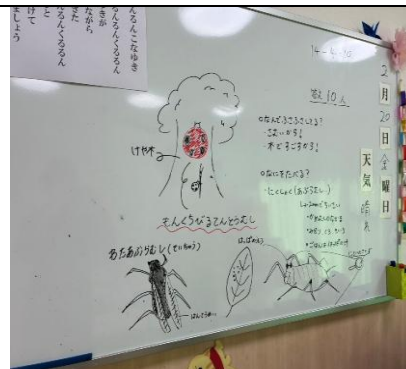
iPadを使い公園で見つけた物を調べる

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）

・公園内の端から端まで散策し、見つけたものを「葉っぱがあったよ」「虫がいた」等と保育者に伝える姿があった。以前の活動を思い出し、見つけたものを調べてみようという提案する子もいた為、子ども達が見つけたものを撮って、後日調べられるようにした。

・公園内で見つけたものを振り返り、子ども達が1番気になっていたテントウムシについてグーグル検索を行った。調べていき答えが分かると、「何で木の中にいたの?」「何で体がふさふさしているの?」等と更に気になったことを質問する姿が見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

前回の活動を経て子ども達は、調べて答えが分かる楽しさを感じていた為、今回の活動でも保育者に見つけたものを積極的に伝えていた。調べる時には1つの事柄について分かると、子ども達から新たな疑問が出て、次に派生しながら調べることが出来た。これらを通して、子ども達の探究する力や物事を柔軟に捉える力があることに気づいた。今回の活動から子ども達は更に身の周りにあるものに関心が湧いている為、子どもの「なんで、どうして」に答えいき、様々な学びを得つつ、探求を一緒に楽しんでいきたい。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

クラス名	虹組（2歳児）
施設名	蒲田音楽学園保育園
施設所在地	東京都大田区西蒲田四丁目27番2号
法人名	社会福祉法人扶社会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然・身近な物

<テーマの設定理由>

（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）

園庭が小さな砂場のスペースしかないため、散歩へ行く機会が多い。近くに遊歩道や公園、線路があることから散歩に行く時間を活かし、「自然」「身近にあるもの」をテーマにして探究する。散歩中に気になる植物や昆虫、電車等をタブレット端末に写真を撮って、園に戻ってきた後に写真に撮った植物や昆虫の名前、特徴等について調べ、探究していく。

2. 活動スケジュール

令和8年1月～3月

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）
 タブレット端末(iPhone・iPad)

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

3月5日(木)

1. 公園で見つけた梅を調べてみよう。
iPadを使い、梅を調べる
2. 見つけた梅の絵を描いてみよう。
写真を見ながら、梅の絵を描く

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）

- ・公園内できれいな梅の木を見つけて、他のお友達や保育者に見せていたり、何の花か問いかけている姿が見られた。
- ・調べている際、梅には種類によって赤や白、ピンクなど色が異なることに驚いていた。また、梅にはたくさんの種類があることにも驚いている様子があった。
- ・調べた後、クレヨンで自由に梅の花を描いた際、赤やピンク色で描いている子や、花だけではなく木も描いて梅の木の全体像を描いている子等、様々な姿が見られた。自分たちで見つけて調べたことによって、より考えを深めながら絵を描くことができていた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・自分たちで見つけた梅の花を題材にすることで、より興味・関心を高めて調べることができていた。
- ・前まで咲いていなかった花が咲いていたことによって、季節の変化を感じることができていた。
- ・絵を描いたことにより、観察力や自然に対する興味が出てきているように感じた。今後も戸外に出て、子ども達が疑問に思ったり知りたかった自然と一緒に調べたり、絵に描いてみたりしていきたい。